

# SR調達と公民連携でつくる 地域のミライ

～選ばれる企業になるための実践ガイド～

## 「SR実践ガイド」発行にあたって

地域社会は人口減少や高齢化、インフラ老朽化など、多くの課題を抱えています。これらに自治体だけで対応するのは難しく、地域の未来を守るためにには「誰と地域をつくるのか」を意識した調達のあり方が欠かせません。

従来の「価格中心の調達」では、地域の力を十分に活かすことができません。これからの調達は社会的な価値や地域への貢献を見るかたちで評価し、地域の未来をともにつくるパートナーを選ぶ行為へと変わっていきます。本ガイドは、こうした視点から、印刷業界と自治体がよりよい協働関係を築くためのヒントをまとめたものです。

### 印刷業界のみなさまへ

情報を編集し伝える力を持つ印刷会社は地域の多様な主体と日常的に関わる、いわば「地域のハブ」です。すでに多くの企業が、地域に寄り添いながら収益も確保する「ローカル・ゼブラ企業」としての姿を自然に体現しています。

しかし、その価値は伝わらなければ評価されません。  
本ガイドでは、  
・自社の社会的価値を可視化し、統合思考で整理すること  
・CSR認定、MUD、GP認定などのエビデンスを整え、客観的に示すこと  
を提案しています。これらは自治体が企業を選ぶ際の重要な判断材料になり、結果的に「選ばれる理由」になります。

### 行政のみなさまへ

調達は地域の未来をつくるための「政策」です。  
SR調達を取り入れることで、  
・不祥事やトラブルを防ぐための「守り」  
・地域の雇用や活性化など政策効果を生む「攻め」  
の両立が可能になります。

また、柔軟に公民連携に取り組み、地域に根ざした企業の特徴・強みを政策実装に活かすことで、行政だけでは対応が難しい課題の解決にもつながります。

調達は「誰が一番安いか」ではなく、「誰とならより良い未来をつくれるか」を問う時代になっています。本ガイドが、印刷業界の力を地域に活かし、自治体とともに持続可能な地域をつくる一歩となれば幸いです。ともに新しい調達のあり方を切り開く契機となることを願っています。  
皆さまからのご意見もお待ちしております。

本誌の具体的な使い方、行政への説明の仕方、実践例などは今後継続的に情報提供してまいります。

### お問い合わせ先

冊子をご希望の組合員は、全印工連事務局のメールアドレス

**webmaster@aj-pia.or.jp**

あてに・会社名・所在地・担当者名・電話番号等をご連絡ください

11月下旬以降は全印工連のホームページ ([www.aj-pia.or.jp](http://www.aj-pia.or.jp)) から  
PDF版をダウンロードすることができます